

回覧

講演会

「南アルプスユネスコエコパーク登録10周年と早川の自然～第四弾～」

南アルプスは3,000m級の山々からなり、この山地の形成には糸魚川 - 静岡構造線と呼ばれる日本列島を東・西に二分する大きな断層が関係しています。この大断層沿いにそびえる七面山の大ガレ（大崩落地）から春木川下流部には土砂の流出が活発で、この対策として設けられた栃原堰堤は早川流域における最古の堰堤として、登録文化財に指定されています。

この講演会は、令和6年8月31日に開催予定でしたが、台風10号が紀伊半島沖で停滞し南アルプス公園線が通行止めになり中止したものです。是非お話を聞いて、栃原堰堤の素晴らしさを実感し、栃原堰堤を見に行ってください。



栃原堰堤

◎日 時 **令和7年1月18日（土曜日）** 午前10時～午前11時30分

（受付は午前9時30分から）

◎会 場 早川町役場2階会議室 （住所：早川町高住758）

◎参加費 無料

◎ 演 題

「早川の砂防～県内の登録文化財とこれからの話～」

・・・（国土交通省 富士川砂防事務所長 藤 平 大）

問い合わせ先：日本上流文化圏研究所（電話：0556-45-2160 <http://www.joeyuken.net/>）

主催：日本上流文化圏研究所

糸魚川 - 静岡構造線資源活用プロジェクトin早川